

高校生が各企業から事業概要などの説明を受けた「リクルートラウンジ」の企業内容説明会＝10日、八戸プラザアーバンホール



# 働く意義 理解深める

## 八戸 企業説明会に高校生450人



企業の人材確保や地元就職の促進に向け、デーリー東北新聞社が企画する「リクルートラウンジ」の企業内容説明会が10日、八戸プラザアーバンホールで開かれた。今回は高生

のキャリア教育の一環として実施し、八戸市内の6校から1、2年生を中心

に約450人が参加。各企業から事業内容や社会的役割などに関する説明を受け、将来の職業選択の参考にした。

八戸中央青果の横町芳隆社長は「働くことや社会人になることの意義を説明した。仕事について理解を深め、その上でわが社の雰囲気を感じ取ってもらいたい」と強調した。

サッカークラブのヴァンラーレ八戸U-18に所属する青森県立八戸水産高2年の越田悠斗さん（16）は「チームのスポンサー企業がどのような仕事をしているか知ることができた。就職か進学かまだ決めていないが、地元企業への関心が高まった」と充実感をにじませた。

企業側は会社資料の配布を含めて41社がエントリーし、うち33社がブースを構えた。各社のトップや採用担当者が生徒に対し、事業概要や職場環境、地域貢献活動などをアピールした。

八戸中央青果の横町芳隆社長は「働くことや社会人になることの意義を説明した。仕事について理解を深め、その上でわが社の雰囲気を感じ取ってもらいたい」と強調した。

同日は南部町などの生産者部会の会合も行われ、独自に用意する販売用の箱の規格などについて意見を交わした。

援するため、学校側はキャリア教育に力を入れている。八戸学院光星高の田中敏則教諭は「1、2年生の頃から自分の進路について具体的に考え、3年生になつた時に全力で取り組めるようになってほしい」と話した。

（井上周平）

（松原一茂）